

第1章 県立病院の概況

2 県立病院事業概況

令和5年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

令和5年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ46,348人で前年度より1,686人(3.8%)増加し、外来は延べ107,744人で前年度より3,376人(3.0%)減少している。また、入院はこころの杜・ふたば病院で増加、宮下病院・南会津病院で減少、外来はこころの杜・ふたば病院・ふたば復興診療所で増加、宮下病院・南会津病院で減少している。

なお、大野病院については、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により休止している。

次に、診療科ごとに見ると、合計は入院で約3.8%増加、外来で約3.0%減少している。入院では外科で約37%、整形外科で約22%減少したが、内科で約8%、小児科で約1027%、耳鼻咽喉科で約9%、精神科で約6%、救急科で約21%増加している。

また、外来では内科で約10%、小児科で約21%、整形外科で約13%、歯科で約2%減少したが、外科で約5%、産婦人科で約8%、泌尿器科で約4%、耳鼻咽喉科で約9%、精神科で約14%、救急科で約14%、訪問看護で約3%増加している。

(2) 施設設備の整備

ア 令和2年度に着手したこころの医療センター（仮称）整備に係る新病院建設工事が完了した。

イ 医用画像管理システム（宮下病院・ふたば復興診療所）、医療情報システム（南会津病院）などシステム更新を行った。

ウ ふたば医療センター附属病院において、多目的医療用ヘリの夜間係留施設を整備した。

(3) 収支状況

令和5年度における総収益は8,274,276千円で、前年度と比較して481,996千円(6.2%)増加している。

一方、総費用は8,295,843千円で、前年度と比較して591,652千円(7.7%)増加している。この結果、差引純損失は21,567千円となり、前年度88,089千円の黒字から赤字へと転じている。

また、医業収益の2,533,762千円から医業費用の8,107,237千円を差し引いた医業損益は△5,573,475千円となり、損失額が前年度と比較して769,291千円(16.0%)増加している。この結果、総収益対総費用比率は99.7%、医業収益対医業費用比率は31.3%となっている。

主な費用について見ると、給与費は4,029,809千円で前年度と比較して47,861千円(1.2%)増加し、医業収益に対する割合では159.0%となり、前年度より7.3ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については445,498千円で前年度と比較して10,858千円(2.4%)減少しており、医業収益に対する割合は17.6%と前年度より0.2ポイント増加している。

累積欠損金は、前年度より21,567千円増加して6,554,503千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は258.7%と前年度と比較して9.8ポイント増加している。なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入3,322,962千円、資本的収入948,402千円で合計4,271,364千円となっており、前年度と比較して726,546千円(20.5%)増加している。

3 県立病院の体制

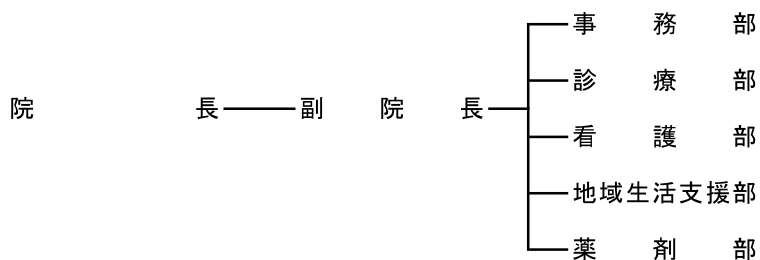
令和5年4月1日現在

〔本 局〕

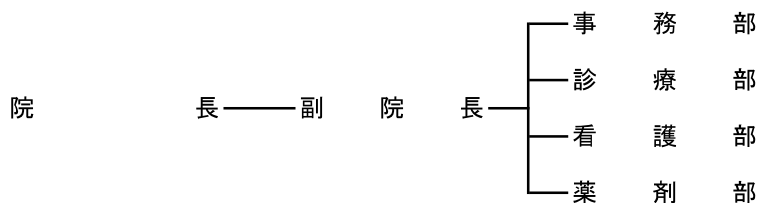
- ・ 病院事業管理者
- ・ 病 院 局 長——病院局次長——病院経営課

〔病 院〕

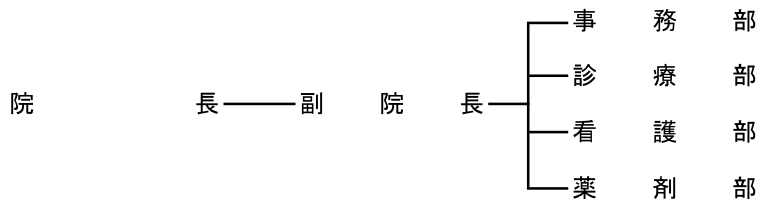
- ・ ころの杜



- ・ 宮下病院



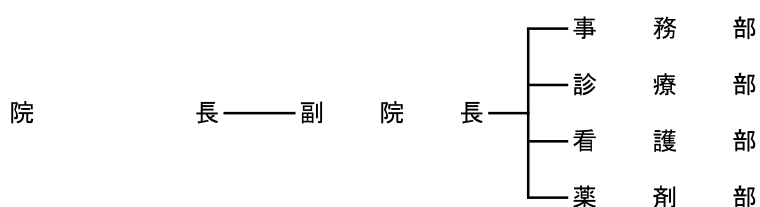
- ・ 南会津病院



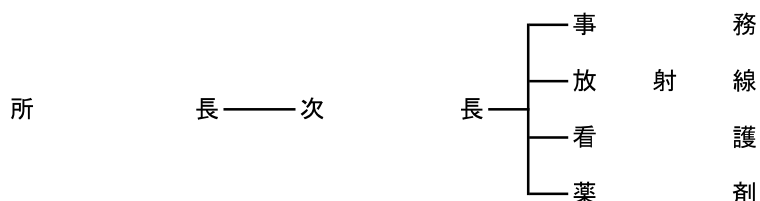
〔ふたば医療センター〕

セ ン タ ー 長——副 セ ン タ ー 長——事 務 長

- ・ 附属病院



- ・ ふたば復興診療所



4 県立病院現況

福島県立病院は、昭和24年に日本医薬団から譲り受け7病院、17診療所を主体として発足し、その後医療行政の一環として、医療に恵まれない地域における病院の設置及び他の公共団体に対する移管等を行い、現在は5病院1診療所を有している。

令和6年3月31日現在

区分 病院名	所在地	開設年月	標榜診療科名 (1)は非常勤医の診療科 (2)は休診中の診療科	許可病床(運用病床)		看護体制	入院時食事療養 実施状況	備考
				一般	結核精神感染症			
ふくしま医療センター こころの社	969-0284 西白河郡矢吹町滝八幡100番地 (0248)42-3111(代)	S30.11	精・内・(歯)	148 (148)	148 (148)	148 (148)	I	昭和57年9月1日 精神 288 → 300 伝染 20 → 0 平成12年4月1日 精神 296 → 295 平成20年1月1日 精神 294 → 206 平成27年4月1日 精神 206 → 199 平成30年3月20日 精神 199 → 196 令和4年10月12日 精神 196 → 148
宮下病院	969-7511 大沼郡三島町大字宮下字水尻1150番地 (0241)52-2321(代)	S26.11	内・(外)・(整)・耳・ (神経)・(皮)	32 (32)	32 (32)	10対1	I	昭和56年3月14日 一般 45 → 55 結核 10 → 0 平成元年9月1日 伝染 10 → 0 平成21年4月1日 一般 55 → 32
南会津病院	967-0006 南会津郡南会津町永田字風下14番1 (0241)62-7111(代)	S24.7	内・(神内)・(漢内)・ 外・整・産婦 [※] は 休診・小・(耳)・(眼)・ (皮)・(神経)・(心 外)・(腎内)・(泌)	98 (98)	98 (98)	10対1	I	昭和56年8月31日 結核 15 → 0 平成7年3月31日 伝染 15 → 0 平成7年4月12日 一般 75 → 150 平成21年3月31日 一般 150 → 100 平成25年4月1日 一般 100 → 98
大野病院 (休止中)	979-1308 双葉郡大熊町大字下野上字大野98番地の1	S26.12	【内・消内・外・整・ 小・麻・産婦・(眼)・ (呼)・(泌)】	146 (0)	4 (0)	—	—	昭和63年3月25日 一般 110 → 158 結核 50 → 伝染 15 平成4年9月30日 伝染 15 → 0 平成15年1月14日 一般 158 → 146 感染 0 → 4
ふたば医療センター ふたば復興診療所	979-1151 双葉郡富岡町大字本岡字王塚817番地の1 (0240)23-5090(代)	H30.4	(内)・救急	30 (30)	30 (30)	10対1	I	
ふたば医療センター ふたば復興診療所	979-0604 双葉郡楢葉町大字北田字中満289番地の1 (0240)23-6500(代)	H28.2	(内)・(整)・精	—	—	—	—	
計				306 (160)	148 (148)	4 (0)	458 (308)	

6 県立病院の沿革

(1) ふくしま医療センターこころの杜

年	月	概 要
昭和	30年 11月	県立矢吹精神病院(病床 100床)として開設
	31 3	生活保護法による医療機関に指定
	31 11	結核予防法による医療機関に指定
	33 6	病棟(38床)、管理診療棟増築
	34 8	矢吹町ほか1ヶ村一部事務組合立隔離病棟(20床)併設
	37 7	病棟(55床)増築
	38 1	県立矢吹病院と改称
	38 5	病棟(55床)増築
	40 8	病棟(50床)増築
	41 6	病棟(50床)増築
	42 5	看護婦宿舎(40人収容)新築
	42 6	生活療法棟新築
	47 12	病床(60床)減少 病床数288床
	57 9	病床増床 精神 288床 → 300床 伝染病床廃止 20床 → 0床
	58 10	全面改築建築工事着工
	59 3	建築工事完成
平成	3 4	精神科デイ・ケア施設承認
	5 4	第2病棟閉鎖 許可病床数変更(300床 → 296床) 運用病床数変更(280床 → 242床)
	12 4	第1病棟閉鎖、保護室増築 許可病床数変更(296床 → 295床) 運用病床数変更(242床 → 206床)
	15 9	許可病床数変更(295床 → 294床)
	19 9	内科外来開設
	20 1	許可病床数変更(294床 → 206床)
	23 8	児童思春期外来開設
	24 1	精神科応急入院指定病院に指定
	27 4	第3病棟休止、4病棟体制から3病棟体制に変更
	27 4	運用病床数変更(206床→156床)
	27 8	許可病床数変更(206床→199床) 運用病床数変更(156床→149床)
	29 4	訪問看護ステーション開始
	29 6	認知症患者医療センターに指定
	30 3	許可病床数変更(199床 → 196床) 運用病床数変更(149床→146床)
令和	2 6	特定病院、特例措置の応急入院指定病院に指定
	3 3	電子カルテ(医療情報システム)稼働
	4 10	新病院へ移転 「福島県立ふくしま医療センターこころの杜」と改称(148床)
		医療観察法病棟設置
	5 7	社会復帰病棟設置

(2) 宮下病院

年	月	概 要
昭和	26年 11月	宮下病院開設 診療科目(内科・外科・産婦人科):一般 24床
	27 6	病棟増築 9床増床:一般 33床
	28 11	伝染病隔離病舎併設(病床数 13床)、一般 4床増床:一般 37床 伝染 13床 計 50床
	32 11	病棟増築 8床増床:一般 45床 伝染 13床 計 58床
	33 6	病室改造 2床減床:一般 43床 伝染 13床 計 56床
	35 9	病床区分変更:一般 23床、結核 20床、伝染 13床、計 56床
	39 5	病室改造 一般 3床減床:一般 20床、結核 20床、伝染 13床 計 53床
	39 7	眼科診療開始→[54年2月休診]
	44 12	病院庁舎改築移転 診療科目(内科・外科・産婦人科・眼科) :一般病床 45床、結核病床 10床 計 55床(隔離病床 伝染 10床併設)
	45 7	産婦人科休診
	45 7	整形外科診療開始→[48年休診]
	56 4	結核 10床を一般病床に変更:一般 55床、伝染 10床 計 65床
平成	元 9	伝染病床廃止 10床 → 0床:一般 55床
	5 7	整形外科診療再開
	6 11	神経精神科診療開始
	8 10	耳鼻咽喉科診療開始
	13 4	診療圏内のへき地診療所への診療応援開始
	14 2	(財)日本医療機能評価機構の認定(一般病院A)取得
	16 4	地方公営企業法の全部適用
	16 6	へき地医療拠点病院に指定
	19 2	(財)日本医療機能評価機構の再認定(Ver.5.0)取得
	19 5	皮膚科診療開始
	19 6	患者送迎バス運行開始
	21 4	許可病床数変更(一般 55床 → 一般 32床)
	22 1	救急協力病院に認定
	25 2	(財)日本医療機能評価機構の再認定(Ver.6.0)取得
	25 2	整形外科と神経精神科を隔週診療から毎週診療へ変更
	25 4	外科休診
	25 6	リハビリ室オープン
	25 11	精神科の院内呼称「心身医療・もの忘れ外来」開始
	27 4	外科診察再開
	27 4	耳鼻咽喉科を毎週診療へ変更
	28 3	耐震改修工事竣工
	29 2	(公財)日本医療機能評価機構の再認定(3rdG:Ver.1.1)取得
	29 4	在宅療養生活支援外来「愛ばんしょ外来」開設
	30 11	介護保険による訪問看護事業を開始
令和	2 7	新型コロナウイルス感染症への対策として「仮設陰圧ハウス」を設置
	2 10	「発熱外来」を設け、新型コロナウイルスの抗原検査、PCR検査を実施
	3 12	(公財)日本医療機能評価機構の再認定(3rdG:Ver.2.0)取得

(3) 南会津病院

年	月	概 要
昭和	24年 7月	日本医療団より移管され、県立田島病院として設置
	27 8	病院新築(60床)
	39 11	病棟増築 32床増床 計 92床
	41 2	外科手術室を増築
	45 12	病院庁舎を改築、移転
	56 8	結核 15床を一般病棟に変更、一般 75床、伝染 15床、計 90床
	58 12	救急協力病院に認定
平成	3 3	県立田島病院整備基本構想を策定
	4 3	移転改築のための用地取得(田島町風下地内 20,816㎡)
	4 4	運用病床数変更(一般 69床 → 71床)
	5 7	新病院建築工事着工
	6 5	職員宿舎建築工事着工
	6 12	新病院建築工事竣工 病床数 150床 建物 鉄筋コンクリート2階建、延面積 8,998.30㎡
	7 2	職員宿舎建築工事竣工(医師 10名、職員 24名)
	7 4	診療開始・病院名称変更 [県立田島病院 → 県立南会津病院] 診療科目 [内科(人工透析含む)、外科、産婦人科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科]
	8 11	地域災害医療センターに指定
	11 4	救急病院として告示
	12 5	麻酔科診療開始
	16 6	へき地医療拠点病院に指定
	19 2	皮膚科診療開始
	21 3	許可病床数変更(150床 → 100床)
	22 3	神経精神科診療開始
	23 4	泌尿器科診療開始
	24 10	電子カルテシステム整備
	25 4	許可病床数変更(100床 → 98床)
	26 4	漢方内科診療開始
	27 3	太陽光発電設備等整備
	27 9	救急医療功労者厚生労働大臣表彰受賞
	29 11	みなみあいづ訪問看護ステーション開設
	30 11	福島県認知症疾患医療センター指定(南会津圏域・連携型)
	31 4	地域医療支援センターを南会津地方広域市町村圏組合より業務移管
令和	2 1	人工透析遠隔管理開始(全国2例目)
	2 8	福島県地域外来・検査センター指定
	4 4	腎臓内科診療開始
	4 4	心臓血管外科診療開始

(4) 大野病院

年	月	概	要
昭和	26年12月	大野病院開設	診療科目(内科・外科・産婦人科) 病床数 30床
	27 9	結核療養所設置	増床 160床
	29 6	福島県教員保養所併設	増床 58床
	30 3	2町1ヶ村組合立伝染病棟併設	18床 (昭 44.6 檜葉町、45.11 広野町加入)
	30 4	准看護婦養成所併設	(定員 1学級 20名)
	33 3	准看護婦養成所中止	
	33 4	結核養護学級を教員保養所内に開設	(専任教員 2名、定員 40名) 減少 6床
	40 9	整形外科増設	
	42 3	教員保養所廃止	大野病院全面移管
	46 3	全面改築のため病棟他一部解体、改築起工	
	47 6	病院庁舎を改築移転	
	54 9	病床 8床増床	
	56 8	外来診療棟の増改築	
		一般病棟 2床増床	(一般病床 110床、結核 50床、伝染 15床、計 175床)
	61 11	救急協力病院に認定	
	63 2	全身用コンピューター断層撮影装置室増築	
	63 3	結核 50床を一般病床 48床に変更、一般 158床、伝染 15床、計 173床	
平成	4 9	伝染 15床を廃止	
	5 3	事務室増築	
	5 4	運用病床数変更	(一般 158床 → 153床)
	10 9	県立大野病院整備基本構想を策定	
	13 2	新病院建築工事着工	
	14 10	新病院建築工事竣工	
		建物 鉄骨＋鉄骨鉄筋コンクリート4階建、鉄筋コンクリート3階建(手術棟)、	延面積 10,426.59㎡
	15 1	診療開始	
		診療科目 [内科、外科、産婦人科、整形外科、眼科、麻酔科]	
		許可病床数変更	(一般158床 → 一般146床 感染4床)
		運用病床数変更	(一般153床 → 一般146床 感染4床)
		救急病院として告示	
	15 4	呼吸器科、泌尿器科診療開始	
	19 4	小児科診療開始	
	21 2	消化器内科診療開始	
	23 3	東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により休診	

(5) ふたば医療センター附属病院

年	月	概	要
平成	30年4月	ふたば医療センター附属病院開設	診療科目(内科・救急科)
	30 7	訪問看護開始	
	30 10	多目的医療用ヘリ運航開始	
令和	元 5	出前講座開始	
	2 4	訪問リハビリテーション開始	
	5 2	MRI装置導入開始	
	5 4	地域災害拠点病院指定	

(6) ふたば医療センター附属ふたば復興診療所

年	月	概	要
平成	28年2月	大野病院附属ふたば復興診療所(愛称:リカーレ)開設	診療科目(内科・整形外科)
	28 10	日曜日・祝日の救急対応開始	(ふたば医療センター附属病院が開院するまで)
	30 4	ふたば医療センター附属ふたば復興診療所に改称	
令和	5 6	心身医療科診療開始	

